



## 令和6年度(2024年度)のご挨拶

市立大津市民病院 理事長 かわうち あきひろ 河内 明宏



平素より当院に対しましてひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成29年4月に地方独立行政法人に移行した本院にとりまして、令和6年度は第2期中期計画の最終年度となります。第2期の目標を達成し、第3期でさらに成長していけるように、“信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点”という病院理念のもと、全職員が一致団結して新しい年度をスタートしました。

昨年度は他の医療機関や患者の皆様との連携をしっかりと行っていくために地域医療連携支援センターを立ち上げました。また11月よりドクターカーの運用を開始し、地域の救急の現場で医療を提供することにより、救命や予後の改善につなげる努力を行っております。

今年度からは在宅診療センターを立ち上げました。このセンターは従来から稼働しています訪問看護ステーションに加え、訪問診療、訪問歯科診療、訪問リハビリテーションおよび訪問栄養指導を総合的に行うセンターです。地域において増加している在宅の患者さんに対し、訪問診療を行っておられる診療所の先生方と協力し、当院の専門医や専門看護師による専門的診療を追加することにより、患者さんの予後を改善し、QOLを高めることを目標にしています。診療には当院歯科医師、歯科衛生士、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士や管理栄養士なども加わり、患者さんの状態に合わせた総合的な医療サービスを提供したいと考えています。

正月早々の能登半島地震では当院の職員もDMATや看護協会からの依頼を受けた災害派遣ナースとして現地で活動しました。今後も予測ができない事態が起こる可能性が十分ありますが、どのような状況においても市民や患者の皆様にご信頼される病院として努力してまいりますので、今後とも変わらぬ温かいご支援を賜りますように、何卒よろしくお願い申し上げます。

# 泌尿器科からのお知らせ

## 1 | 前立腺がんの診断率 20～40%向上

### MRI-超音波融合画像診断による 3D 前立腺生検システムを導入しました (大津医療圏では初、県内で2番目)

今回導入したシステムでは、事前に撮影した MRI 画像で、ターゲット（がんが疑われる部位）をあらかじめ特定し、生検針を刺す際の超音波画像上にMRI画像を重ね合わせた（融合させた）画像を描出することが出来るため、穿刺すべき場所の特定とピンポイントでの穿刺・組織採取が可能となります。これにより 20～40%のがん診断率の向上が見込まれると報告されています。

このシステムを用いて効率良く、かつ正確に組織採取と診断を行い、がん病巣の診断率向上と早期発見・早期治療へと繋げていき、これまで以上の質の高い医療を提供します。



## 2 | 負担の少ない前立腺肥大症の新技术

### 経尿道的水蒸気治療を導入しました。

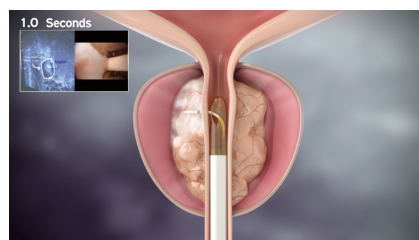
(滋賀県下で初めて)

従来の手術では抗凝固薬の服薬による出血のリスク、麻酔の必要性や手術が難しい方もいらっしゃいます。しかし、経尿道的水蒸気治療はそのような患者さんへの新たな選択肢となります。

経尿道的水蒸気治療は、内視鏡下に前立腺の肥大した腺腫に水蒸気を高圧で対流させることにより熱変性をおこし、肥大箇所を縮小させることで、排尿状態を改善します。

最大のメリットは、侵襲が少ないことです。当院で行った初期症例の平均手術時間は18分と短く、出血もほとんど認められないなど、患者さんの負担が少ない治療となっております。

この治療により尿閉や排尿症状の改善が認められました。また、前立腺の縮小や尿流率の増加などの有効性も示されました。

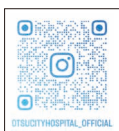


#### 泌尿器科診療部長 おさふね たかし 長船 崇

- 日本泌尿器科学会専門医・指導医
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器 腹腔鏡技術認定医
- 泌尿器ロボット支援手術指導医（プロクター）
- がん治療認定医



Instagram



OTSUCITYHOSPITAL\_OFFICIAL

HP



<https://och.or.jp/>

発行元

地方独立行政法人 市立大津市民病院  
地域医療連携支援センター 地域医療連携室  
Tel. 077-526-8192 (直通) Fax. 077-522-0192

業務時間

月～金曜日：午前8時30分～午後7時30分  
土曜日：午前8時30分～午後12時30分